

市の近況をピックアップして市民の皆さんにお伝えします。

11/19

福島圏域11市町村による協議会を新たに設立 広域連携を強力に推進します！



福島圏域11市町村による広域連携を進める「福島圏域連携推進協議会」を11月19日に新たに設立しました。

この協議会は、人口減少・少子高齢化に伴う諸課題に対し、近隣市町村が連携して、相互に補完し合いながら事業を推進することで、持続的な発展と地域の活性化を図るためのものです。

今後は、観光連携事業や移住定住促進事業、自治体職員合同研修、オリンピック・パラリンピック関連事業などを連携して実施しながら、新たな連携事業や体制について協議を進めていきます。

■問／政策調整課 ☎525-3788

- 参画の11市町村：福島市、二本松市、伊達市、本宮市、宮城県白石市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯舘村、山形県米沢市(オブザーバー)
- 福島圏域データ：人口：約60万人、面積：約2,818km²



圏域連携事業の開催は、お知らせP12をご覧ください。

11/21

一般財団法人世界少年野球推進財団理事長 王 貞治さん 来訪



平成31年度に予定している「第29回世界少年野球大会 福島大会」の福島市開催に向けた協力依頼のため、お越しくださいました。

大会は、王さんとハンク・アーロンさん(アメリカのメジャーリーグで通算755本のホームラン記録を持つ)が提唱して、野球を正しく世界に普及、発展させるとともに、世界の子どもの友情と親善の輪を広げようとの趣旨で開催されています。

本市としても開催に向け精いっぱい協力し、その勢いで東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていきます。

12/1-2

第20回日本ボッチャ選手権 福島市で開催！



東京2020パラリンピック競技大会の正式種目「ボッチャ※」の日本選手権が国体記念体育館で開催されました。本大会には、リオデジャネイロパラリンピックで団体銀メダル獲得の日本代表「火ノ玉ジャパン」の選手も出場し、2年後の東京パラリンピックを見据え、国内トップの選手が熱戦を繰り広げました。

また、BC1(脳原性疾患、アシスタント有り)では、遠藤裕美選手(福島市在住・写真左)と菅野真樹選手(伊達市在住・写真右)の県勢同士の3位決定戦となり、遠藤選手が接戦を制し3位入賞を果たしました。

■問／東京オリンピック・パラリンピック競技大会
福島市推進室 ☎563-5660

※ボッチャとは…重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツ。的となるジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、自分のボールがどれだけ多く近付けるかを競うスポーツ。競技は、男女で分けて障がいの種類や程度によって4つのクラスで競う。